

石川の学童保育

No.399

石川学童保育
連絡協議会第41回
『石川県学童保育研究集会』

開催します！

新しい年、二〇二五年を迎えました。明るく穏やかな一年となるようお願いを込めながらスタートします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年最初の活動として、二月に研究集会を開催いたします。記念講演は、「遊び」をテーマに、分かりやすく楽しい語り口で定評のある吉葉研司先生にお越しいただき、ご講演をいただきます。また、午後からは、テーマに沿ってぎくばらんに話し合いながら交流する、分科会も開催します。

毎回「参加してよかった」の声をたくさんいただき、県の研究集会。ぜひ今回もお誘いあわせの上、奮ってご参加ください。

日時：2025年2月23日(日)

10時～16時

会場：金沢市ものづくり会館

金沢市栗崎町4丁目80-1

<記念講演>

「“ねえ、もうあそんでいい?”

学童保育の「暮らし」のなかで
遊び心を育むために」

講師：吉葉 研司氏(京都橘大学)

<分科会>

①あらためて見つめなおす

「学童保育とは」

②学童保育の防災

～災害への備えを考える～

③学童保育の生活づくり

～仲間と共に育ち合う～

詳しくは案内チラシ
第2弾をご覧ください『全国研 IN 岡山』(2024.11.16～17)
盛況のうちに閉幕！

岡山で開催された第59回全国学童保育研究集会は、全国各地より4829名が参加し、盛況のうちに閉幕しました。「日本の学童ほいく」2月号は、この全国研特集となっています。参加者の感想、分科会報告など、盛りだくさんの内容で振り返る特集となっていますので、ぜひご一読ください！

今後の予定

6/ 1(日) 指導員学校西日本愛知会場
6/29(日) 石川県学童保育連絡協議会 総会
10/25(土)～26(日)
第60回全国学童保育研究集会
IN 福岡

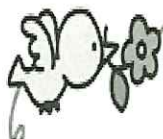
各クラブから参加できるよう
予算の確保をしましょうね！

能登半島地震・豪雨による
被災地への支援活動を
行っています

昨年1月の能登半島地震、9月の能登豪雨により被災された地域の学童保育へ、全国各地から寄せられた募金を活用して支援活動を行っています。

現地のニーズ調査を行い、要望のあった遊具や文房具などを、昨年10月に輪島市へお届けしました。大変喜ばれ、市社会福祉協議会から礼状が届いています。今年1月には、七尾市、能登町、穴水町、志賀町、内灘町に同じく遊具と文房具をお送りできるよう準備を進めています。

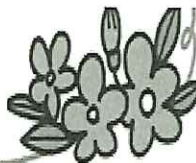
今後も現地の声をお聞きしながら、必要な支援を行えるよう活動を続けていきます。引き続き、支援活動にご協力いただきますよう、お願いいたします。



県連協・顧問の荒木田氏

が語る「石川県の学童保育の歴史」

その16



1997年(平成9年)

県選出の国会議員へ「私たちの提言」に基づく学童保育の制度化を求め要請行動を行いました。

学童保育を知ってもらうために「学童保育ってなあに」と題するビデオを作成し各地で視聴してもらいました。県内すべての自治体にビデオを届け学童保育の理解、設置運営を求めるために全自治体訪問活動を開始しました。

県連協として、国に対し「児童福祉法改正に関する緊急要請書」を提出しました。

学童保育が児童福祉法に位置づいたこともあり、学習会「児童福祉法に位置づけられた学童保育」を開催しました。

いしかわ子育て支援財団の要請で学童保育を知らせる「チラシ」(ご存じですか?放課後児童クラブ)作成の協力をおこないました。

金沢市の「やまびこクラブ」が児童数の増加により増設を行いました。七尾市で「さんごじゅ」津幡町で「ぼけっとクラブ」「もりもりクラブ」宇ノ気町に「宇野気学童保育」、美川町に「湊児童ふれあい」、寺井町に「寺井学童」が発足しました。津幡町「井上子どもクラブ」が「虹のいえ」に名称変更を行いました。

いしかわ地域づくり大会で津幡町「あしの子クラブ」が優秀賞を受賞しました。

全国連協が「私たちの提言」に基づく法制化を求め国への要請行動を実施しました。(一次から三次まで)また「学童保育に対する私たちの見解と要望」、「要望書」「要望署名54万筆」(内石川県内20,383筆)を提出しました。

中央児童審議会基本問題部会に「児童福祉法改正案」が諮問されました。おおむね了承の答申がされました。

6月の国会で児童福祉法改正案が成立しました。学童保育が放課後児童クラブとして児童福祉法に位置づけられました。(施設としてではなく事業として位置づく)

法制化を受けて来年度予算への要請行動を実施しました。(放課後児童健全育成事業として)

厚生省が初めて学童保育の全数調査を開始しました。

第32回全国学童保育研究集会が、千葉県で行われ、4300名を超す参加でした。

1998年(平成10年)

◇全国関連

児童福祉法施行に伴い、第二種社会福祉事業としての届け出を開始しました。

2月、全国連協として、改正児童福祉法施行にあたり要請行動を実施しました。

4月、改正児童福祉法が施行され、学童保育が児童福祉法に位置づき、「放課後児童健全育成事業」が正式に発足。

◇石川県関連

いしかわ子育て支援財団の援助を受けて県内統一の「児童募集」ポスター、「放課後児童クラブパンフレット」を作成。

県に対し、学童保育指導員の研修実施、研修内容を申し入れしました。県は、「放課後児童クラブ指導員の手引書」編集委員会を設置。石川県連協が編集に参加協力しました。

県が初めて私たちが実施する「北陸ブロック学童保育研究集会」に後援を承認しました。

金沢大学の教員養成課程に「学童保育」についての講義をすることになり、石川県連協から初めて非常勤講師を派遣しました。



県連協として初めて独立した事務所を開設することができました。

金沢市連協が「私たちが望む学童保育の姿」を発表しました。

◇新增設関連

金沢市「花園」「味噌蔵」、松任市「つくしんぼ」、「トマト」七尾市「いやさか」「高階」、七塚町「外日角」、辰口町3か所、富来町2か所、河内村、内灘町、根上町、高松町、押水町に各1箇所開設された。野々市町「きのこクラブ」から分離し「つばきクラブ」が発足しました。

7月に津幡町、12月に松任市に連絡協議会が誕生しました。

第33回全国学童保育研究集会が、中国地方で初めて広島県で行われ、4200名を超す参加でした。今後の参加人数の増加が期待される回となりました。

